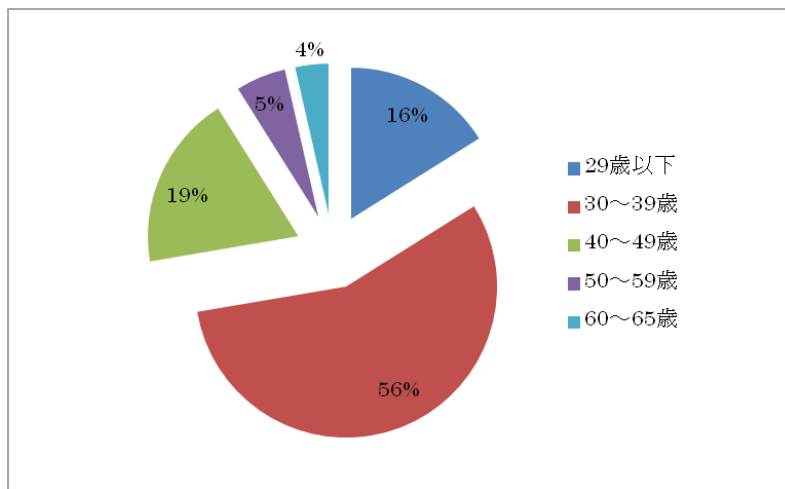


女性研究の研究環境に関するアンケート調査 集計

アンケートの概要 実施日時：平成 25 年 2 月 18 日～平成 25 年 2 月 28 日
対象者：本学の女性教育職員、臨床研究医、後期臨床研修医
回答方法：無記名 記入式
有効回答数：112（対象者数 204 人 回収率 54.9%）

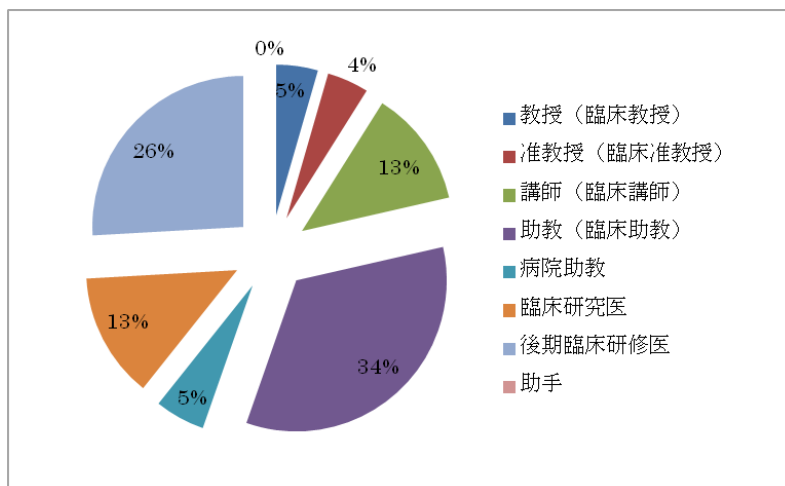
Q1. 年齢を教えてください。（母集団：有効回答数 112）

- | | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| ①29 歳以下 | … 18 人（16%） | ②30～39 歳 | … 63 人（56%） |
| ③40～49 歳 | … 21 人（19%） | ④50～59 歳 | … 6 人（5%） |
| ⑤60～65 歳 | … 4 人（4%） | | |



Q2. 役職を教えてください。（母集団：有効回答数 112）

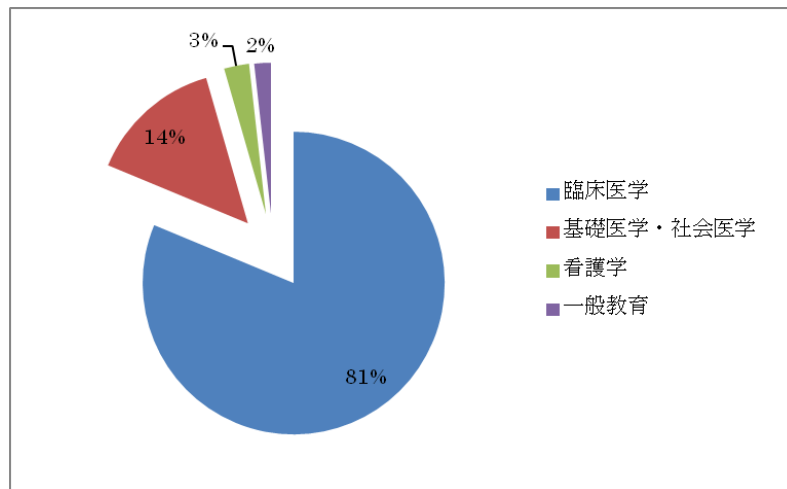
- | | | | |
|-----------|-------------|-------------|-------------|
| ①教授（臨床教授） | … 5 人（4.5%） | ②准教授（臨床准教授） | … 5 人（4.5%） |
| ③講師（臨床講師） | … 14 人（13%） | ④助教（臨床助教） | … 38 人（34%） |
| ⑤病院助教 | … 6 人（5%） | ⑥臨床研究医 | … 15 人（13%） |
| ⑦後期臨床研修医 | … 29 人（26%） | ⑧助手 | … 0 人（0%） |



女性研究の研究環境に関するアンケート調査 集計

Q3. 専門・研究領域はどれに当てはまりますか？ (母集団：有効回答数 112)

- ①臨床医学 … 91人 (81%) ②基礎医学・社会医学 … 16人 (14%)
 ③看護学 … 3人 (3%) ④一般教育 … 2人 (2%)



Q4. これまでに研究に従事したことがありますか？ (母集団：有効回答数 112)

- ①はい … 80人 (71%) ②いいえ … 32人 (29%)

Q5. 直近の3年間で携わった研究について、件数を教えてください。 (母集団：研究経験者 80)

携わった研究	0件 … 3人 (4%)	1～5件 … 44人 (55%)
	6～10件 … 13人 (16%)	11件以上 … 4人 (5%)
論文執筆数	0件 … 8人 (10%)	1～5件 … 43人 (54%)
	6～10件 … 7人 (9%)	11件以上 … 10人 (13%)
学会等での発表	0件 … 2人 (3%)	1～5件 … 42人 (53%)
	6～10件 … 18人 (23%)	11件以上 … 13人 (16%)
科学研究費の申請	0件 … 24人 (30%)	1～5件 … 31人 (39%)
	6件 … 6人 (8%)	

Q6. 研究時間を十分に確保できていますか？ (母集団：研究経験者 80)

- ①確保できている … 18人 (23%) ②確保できていない … 62人 (78%)

女性研究の研究環境に関するアンケート調査 集計

Q7. Q6で「②確保できていない」を選択された方に伺います。確保できていない理由は何ですか？

(複数選択可) (母集団：研究経験者 62)

- ①診療・教育に時間が割かれる … 44人 (71%)
- ②診療・教育以外の雑務に時間が割かれる … 25人 (40%)
- ③出産・育児等のプライベートに時間が割かれる … 16人 (26%)
- ④その他 … 0人

Q8. 現在の自身の研究活動の状況について満足していますか？ (母集団：研究経験者 80)

- ①とても満足している … 2人 (3%)
- ②まあまあ満足している … 22人 (28%)
- ③どちらでもない … 27人 (34%)
- ④少し不満がある … 20人 (25%)
- ⑤かなり不満がある … 9人 (11%)

Q9. Q8で「④少し不満がある」又は「⑤かなり不満がある」を選択された方に伺います。

不満に感じていることは何ですか？

○時間の制約 (17人)

- ・研究にあてる時間の確保が困難。(7人)
- ・日々の業務に時間が割かれすぎて研究時間が足りない。(5人)
- ・臨床の量を減らして、基礎研究に時間を割きたい。しかし、今後の結婚等を考えると、臨床もある程度 keep していきたいが。
- ・時間がなくてはかどらない。調べものすら満足にできない。
- ・時間がない。(全ての研究は平日夜か休日に行っている) 研究をしても論文を書く時間がない。基本的な作業や実験室の管理をする人がいないため、一つの作業を開始するのに時間がかかる。
- ・臨床とのバランス。
- ・臨床と研究を行うと時間的にも足りないうえ、精神的に負担である。

○人材不足 (6人)

- ・医局員が少ないため。十分な研究ができない。
- ・上司の指導内容に偏りがある。自分の考えやアイデアを活かせないことが多い。
- ・教育指導者が不足。
- ・研究を実施してデータをとる博士研究員や助教がいない。指導する学生数が少ない。
- ・若い医師で研究に興味を持ってやってくれる人材が少ない。

○設備・体制の問題 (6人)

- ・写真撮影、統計処理などを専門とする部署が本学にない。
- ・大学が研究できる体制をつくってくれない。
- ・研究施設がない。
- ・実績と待遇が差がある。機器がなくて仕事ができないし、買ってももらえない。遠くまで出かけて借用することになり、身体的にも精神的にもストレスである。
- ・教室のトップの意向もあり、自分の研究を自由にできない。
- ・研究に必要な備品が確保できない。(費用面の問題)

女性研究の研究環境に関するアンケート調査 集計

○その他 (1人)

- ・今後論文執筆や更なる臨床研究を行っていきたい

Q10. 研究活動にあたって障害となっていることはありますか？ (母集団：研究経験者 80)

①ない … 25人 (31%)

②ある … 45人 (56%)

○時間がない (21人)

- ・研究時間の不足 (11人)
- ・臨床・教育・雑務 (内外の管理的仕事) に時間が割かれる。(8人)
- ・日常業務の時間外で行うため、プライベートに時間をさきにくい
- ・指導 Dr が多忙、倫理委員会の書類に時間がかかる

○人材・勤務環境について (9人)

- ・論文を書いたことがなく、指導者も特にないため時間がかかりそう
- ・人員配置が適正になされていない
- ・医局員が少ない
- ・大学として体制が整っていない
- ・研究への理解が得にくいこと
- ・同僚が研究に協力的でない
- ・現在、八王子勤務のため本院での研究は参加しにくい。
- ・転勤が多い
- ・能力不足

○私生活に関すること (5人)

- ・子育て (3人)
- ・宿泊を伴う学会に参加はするがその間に家の中がメチャメチャになっている。主婦、母親としての管理能力が低いせいなのだろうが。
- ・プライベート

○その他 (2人)

- ・お金
- ・意欲がわからない (むなし)

女性研究の研究環境に関するアンケート調査 集計

Q11. 研究活動にあたって支援してほしいことはありますか？（複数選択可）（母集団：研究経験者 80）

- ①研究資金の確保 … 19人（24%）
- ②研究時間の確保・増加 … 46人（58%）
- ③研究人員・補助者の確保 … 27人（34%）
- ④研究計画立案や実施の指導、助言 … 30人（38%）
- ⑤論文作成や発表の指導、助言 … 30人（38%）
- ⑥研究費公募等の情報提供 … 8人（10%）
- ⑦その他 … 2人

- ・臨床の人員を増やして、自分の行っている臨床業務を減らしたい。
- ・基礎との共同研究をしやすいような環境と情報環境、情報開示。

Q12. 今後のキャリアとして教育職・研究職を継続する予定ですか？（母集団：研究経験者 80）

- ①はい … 54人（68%）
- ②いいえ … 23人（29%）

Q13. Q12で「①はい」を選択された方に伺います。本学での勤務を継続する予定ですか？

（母集団：研究職継続予定者 54）

- ①はい … 47人（87%）
- ②いいえ … 7人（13%）

○いいえの理由

- ・本学では、女性は **Position** が取れないことが分かっているので。
- ・わからない。上司の退職や異動で大きく状況が変わると思われるので。
- ・研究の指導が不十分。
- ・郷里の両親の介護。

Q14. 研究補助者を利用できる制度があれば利用したいですか？（母集団：研究経験者 80）

- ①機会があれば利用したい … 67人（84%）
- ②利用したいとは思わない … 9人（11%）

Q14で「①機会があれば利用したい」を選択された方に伺います。以下の Q15～Q17にお答えください。

Q15. どんな作業を任せたいですか？（複数選択可）（母集団：補助者利用希望者 67）

- ①文献検索 … 34人（51%）
- ②実験補助 … 33人（49%）
- ③研究データの入力・整理 … 56人（84%）
- ④発表資料の作成 … 25人（37%）
- ⑤その他 … 1人

- ・会計の管理

女性研究の研究環境に関するアンケート調査 集計

Q16. どんな時に利用したいですか？（複数選択可）（母集団：補助者利用希望者 67）

- ①産前産後休暇・育児休暇・介護休暇等の休暇を利用している間 … 32人（48%）
- ②育児・介護等の短時間勤務を利用している間 … 35人（52%）
- ③その他 … 15人
 - ・常時、通常勤務時（13人）
 - ・診療等ルーチンワークをしなければいけない時間（2人）

Q17. 利用するとしたら、どれくらいの時間で作業を任せたいですか？（母集団：補助者利用希望者 67）

日 数：①平日は毎日 … 10人（15%）

②週あたり … 45人（67%）

1日 … 8人 2日 … 21人 3日 … 14人

4日 … 2人

③月あたり … 4人（6%）

3日 … 2人 5日 … 1人 数日 … 1人

時 間：①フルタイム … 10人（15%）

②1日あたり … 32人（48%）

1時間 … 1人 2時間 … 1人 3時間 … 12人

4時間 … 2人 5時間 … 7人 6時間 … 6人

数時間 … 3人

Q18. これまで研究を実施していない理由は何ですか？（複数選択可）（母集団：研究未経験者 32）

- ①研究に充てる時間がない … 12人（38%）
- ②研究のやり方が分からない … 8人（25%）
- ③研究をやりたいと考えたことがない … 12人（38%）
- ④特に理由はない … 7人（22%）
- ⑤その他 … 4人

- ・基礎研究はやっていないが、日常の臨床をやりながらの臨床研究はやったことがある。
- ・博士号取得のため研究したいと考えているが、適切な環境がない。（指導教員の不在、基礎研究への派遣希望も上から拒否されているらしい）
- ・研究はやりたいが、まず先に専門医のための臨床をやりたい。
- ・まだ入局一年目のため。

Q19. 今後、研究を行いたいと考えていますか？（母集団：研究未経験者 32）

- ①はい … 20人（63%） ②いいえ … 12人（38%）

Q20. Q19で「②いいえ」を選択された方に伺います。理由は何ですか？

- ・興味がないため。（3人）
- ・非常勤になるため。
- ・特になし。

女性研究の研究環境に関するアンケート調査 集計

Q21. どのような支援があれば研究を行いたいですか？または行うことができますか？（複数選択可）

（母集団：研究未経験者 32）

- ①研究資金の確保 … 13 人（41%）
- ②研究時間の確保・増加 … 20 人（63%）
- ③研究人員・補助者の確保 … 5 人（16%）
- ④研究計画立案や実施の指導、助言 … 15 人（47%）
- ⑤論文作成や発表の指導、助言 … 12 人（38%）
- ⑥研究費公募等の情報提供 … 3 人（9%）
- ⑦その他 … 3 人

- ・ 初期研修医の時から研究活動の指導、論文作成の支援等行っていく方が望ましい。
- ・ 時間がない。まず今のことに精いっぱい。
- ・ 研究できる環境があること。

Q22. 女性研究者向けに研究活動支援のための相談窓口が設置されたら、利用したいですか？

（母集団：有効回答数 112）

- ①機会があれば利用したい … 90 人（80%）
- ②利用したいとは思わない … 16 人（14%）

Q23. 今後本学で研究活動を行うにあたり、ご意見・ご要望がございましたらお書きください。

○人材（3 人）

- ・ 臨床研修の必修化に伴い、研究への興味を持つ若手医師が減っている（全国的に）、リサーチマインドを育成するような卒前教育カリキュラムが必要と思います。このようなアンケート実施の意義は大きいと思うので、男性医師にも問うことが必要かもしれません。
- ・ 多くの主任教授、教授に女性が就けないようでは、研究への意欲、モチベーションの持ちようがない。
- ・ 近くに出産・育児をしながらフルタイムで働く女性医師がいないためロールモデルがなく今後が不安です。

○勤務体制（7 人）

- ・ 産休・育休に入った場合でも、補助制度を利用して研究職を継続する、もしくは保育所設置していただき安心して働けるようになると良いと思います。
- ・ 診療に時間をさくのは臨床医なので仕方ないと思うが、雑務が多い。眼科は科内検査が多いので、検査員を増やせば医師でなくとも済む検査に割く時間も少なくなるのだが、病院サイドが“No”と言っているうちは当科では医師が科内検査をせざるを得ない。市中病院ではこんなことはあり得ない。研究、教育も duty である大学病院で雑務が多すぎるのは矛盾を感じるのですが。
- ・ 研究を行っている医局員と、同等の収入が保証されたうえで、研究時間を通常の業務時間内に確保したい。
- ・ 臨床医として、症例報告や臨床研究を病棟・外来業務と並行して細々でも続けていくことが、自分の軌跡となり、子持ちで労働力不足な点はあるけれども代替不可能な Dr でいられる自信にもなるため、赤ちゃんを育てている Dr にも研究も中断しないでもらえると更に先のキャリアへつながっていくと思います。

女性研究の研究環境に関するアンケート調査 集計

- ・残業代の申請が診療のみなのはおかしい。教育にも出すべき。研究をする土台ができていないと思う。
- ・臨床を行いながらも基礎研究ができる時間を確保してほしい。通常業務・臨床を終了後に行うのは、多大なストレスにつながる。
- ・産休、育児休暇などに合わせて、研究活動をできるような制度があれば利用したいと思います。

○支援体制（8人）

- ・科・内容に関わらず教育相談にのってくれる指導者の配備があればと思います。
- ・学会での発表（海外を含む）を支援する。優秀論文賞を設けて、女性研究者を奨励する。（支援センターとしての事業として行う）
- ・頑張っている男性との差別補正のために、研究の評価を点数化する。その研究に対して具体的にどう支援するか、検討する必要があると思います。
- ・各教室に研究助手だけでなく、研究助教やポスドクを大学雇用で最低1名ずつを配置してほしい。基礎との共同研究を自由にできるようにしたい。（教室のトップの意向に関係なく）
- ・コアラボ、学内でオーダーできるものがあればそれを分かりやすくしてほしい。共同施設の使用方法等講習会があるのか教えてほしい。
- ・共同利用設備の充実、実験機器を使用する際のアドバイザー制度。
- ・先輩の先生方のお話を伺う機会があれば幸いです。将来像がまだ見えていないので。
- ・研究補助者は短期間でも利用できれば大変ありがたいです。

Q24. 勤務制度として、診療等を行わず研究に専念する働き方が選択できるとすれば、利用したいですか？

- ①機会があれば利用したい … 56人 ②利用したいとは思わない … 26人

Q25. 出産・育児等のライフイベントと研究活動を両立するための短時間勤務制度があったら、利用したいですか？

- ①機会があれば利用したい … 19人 ②利用したいとは思わない … 2人